

慢性疾患児とご家族のための 災害時ガイドブック

災害時に医療的ケアを必要とするお子さんとその家族は、
さまざまな困難に直面することが考えられます。
医療器具の準備や、緊急時の連絡先の確認など、災害時の備えをしておきましょう。



作成年月日 年 月 日

- 見直しを年1回行いましょう
- 医療機器が変更になった場合は改めて確認しましょう
- 医療的ケアの内容や家族に変化があった時は随時見直しをしましょう

① 事前に備えておくこと

防災メール
事前登録

① 市町の防災情報メールの配信登録をしておく

※LINE 等で随時配信していることもありますが、事前に登録すると安心です。

お住まいの市町村ホームページにアクセスし、情報を確認しておきましょう▶



〇△市町 防災情報 🔍

② 自宅・通所先付近で想定される災害状況を知っておく

ハザードマップ
をダウンロード

ハザード
マップ

市町村のハザードマップを使って、洪水・土砂災害や大規模地震、津波が起きた場合に自宅や自分がよく行く場所がどのくらい影響があるか確認しましょう。浸水域内は電気・ガス・水道・トイレなどのライフラインが使えなくなる可能性があります。

- 洪水 例) 自宅周辺は浸水深 3.0~5.0m (2 階部分まで浸水のおそれ) 区域に入るなど
- 土砂災害 例) 土砂災害警戒区域に指定されているなど
- 地震 例) 液状化危険度や揺れやすいかなど
- 津波 例) 自宅周辺は浸水深 0.5~3.0m (1 階部分浸水のおそれ) 区域に入るなど
- 高潮 例) 学校は浸水深 0.5~3.0m (1 階部分浸水のおそれ) 区域に入るなど



〇△市防災ハザードマップ 🔍

③ 医療機器のバッテリー時間（持続時間）、充電状態をチェック

停電対策	人工呼吸器	内部バッテリー 有（ 時間） ・ 無	外部バッテリー 有（ 時間） ・ 無
	酸素濃縮器	内部バッテリー 有（ 時間） ・ 無	外部バッテリー 有（ 時間） ・ 無
	吸引器	内部バッテリー 有（ 時間） ・ 無	外部バッテリー 有（ 時間） ・ 無
	加湿器	内部バッテリー 有（ 時間） ・ 無	外部バッテリー 有（ 時間） ・ 無
	モニター	内部バッテリー 有（ 時間） ・ 無	外部バッテリー 有（ 時間） ・ 無
電源がない時の対応	<ul style="list-style-type: none"> • • • 		

- 手動式や足踏み式喀痰吸引器など、電源を必要としない補助的医療機器を準備しましょう（日頃使いができるようにしておきましょう）
- すぐに外部バッテリーが使えるように近くに置いておきましょう
- 日頃からバッテリーの充電をしておきましょう

※電力の節約：加湿器を人工鼻に変える（事前に主治医と相談）、酸素濃縮器から酸素ポンペに変更すると節約になります。

● 確認しておくこと ●

酸素ポンペの持続時間は、連続使用で

約 流量 L/分で 時間

4 電源を確保する

●外部バッテリー 【 有 ・ 無 】

●UPS（無停電装置） 【 有 ・ 無 】

●蓄電池 【 有 ・ 無 】

●車から電源を取る 【 有 ・ 無 】

シガーライターソケット — 正弦波インバーター — 延長コード — 医療機器

●発電機 【 有 ・ 無 】

ガソリンタイプ、ガスタイプ、その他（太陽光発電装置等）

※インバーター機能がついていると、安定した出力が得られます。

※年1回は動作確認が必要です。

発電機選択の ポイント

●接続したい医療機器の総容量によって機種を選択しましょう。

例) 人工呼吸器 200W、酸素濃縮器 150W、加温加湿器 400W を使用している場合は 750W 必要になります。

(総容量の 1.2 倍程度の容量機器を選択することをお勧めします)

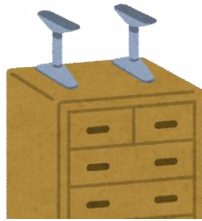
5 内服薬や必要物品を備えておく

内服薬や必要な物品が手に入らなくなることが想定されます。

普段から **最低 3 日間は予備を準備** しておきましょう。(チェック表参照)

⑥ 家屋の安全点検と対策（固定）をする

●家具の固定をしましょう



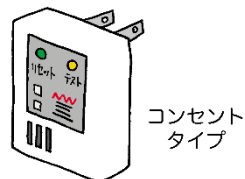
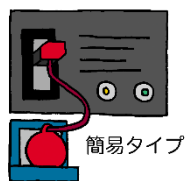
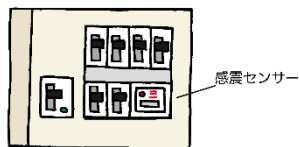
●人工呼吸器や吸引器が転倒しないように工夫しましょう

●ガラスに飛散防止フィルムを貼りましょう



●感震ブレーカーを設置しましょう

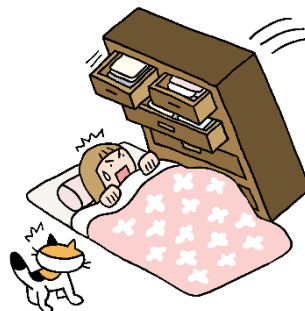
分電盤タイプ



●消火器を準備しましょう



●ベッドの周囲には落ちてくると危険なものは置かないようにしましょう



②避難場所・避難ルート・避難方法を決めておく

●避難場所：

●避難方法：

●避難に必要な人数： 人

●協力者：

③避難行動要支援者避難支援制度について

自力での避難が困難な方の情報を避難支援等関係者に提供することで、地域での援護活動に役立ててもらうもので、登録の窓口はお住まいの市町村です。ただし、支援を必ず受けられるものではないので、日頃から地域の皆様との連携を大切にし、災害時に手助けをお願いできるようにしておきましょう。

各市町の制度
について▶

鎌倉市
にお住まいの方



逗子市
にお住まいの方



葉山町
にお住まいの方



名簿情報提供に関する同意の有無： 有 ・ 無

④緊急時の連絡先を確認しておく

名称	機関名（担当者）	電話番号
かかりつけ医（主治医）		
医療機関		
医療機関		
訪問看護ステーション		
_____市・町_____課		
鎌倉 保健福祉事務所		
消防署		
東京電力		
呼吸器業者		
酸素業者		

⑤避難時に必要な物品(チェック表)

医療用具や衛生材料などを備蓄しておきましょう。

持ち出し品は災害に備えて、決めた場所においておきましょう。

	用意しておくもの	個数		用意しておくもの	個数
医療的ケア物品	■人工呼吸器		排泄	■おむつ	
	■外部バッテリー（充電済み）			■おしりふき	
	■バックバブルマスク			■ゴミ袋	
	■気管カニューレ			■	
	■予備吸引器			■	
	■予備の吸引カテーテル			■	
	■予備の人工呼吸器回路			■	
	■アルコール綿			■	
	■吸引チューブ			■	
	■ゴミ袋			■着替え	
	■水			■下着	
	■シガーソケット			■毛布またはバスタオル	
	■延長コード			■体位変換用クッション	
	■人工鼻			■薬（最低3日分）	
	■Yガーゼ			■外用薬	
栄養	■カニューレと留めるバンド		その他	■お薬手帳	
	■			■手指アルコール消毒	
	■経管栄養剤			■保険証、受給者証	
	■経管栄養チューブ			■	
	■注入用シリンジ			■	
	■ゴミ			■	
	■注入用水（ミルク用の水）			■	
	■S字フック			■	
	■液体ミルク			■	
	■離乳食（レトルト）			■	
	■			■	
	■			■	

停電になった場合

●電気が消えたら

- 1) まずブレーカーの確認をしましょう。
ブレーカーが落ちていれば、ブレーカーを上げましょう。
- 2) ブレーカーが落ちていなければ、停電状況の確認を行ないましょう。

東京電力 停電情報 神奈川▶



- 3) 東京電力に連絡、5つのことを伝え、復旧依頼しましょう。



0120-995-007
03-6375-9803 (有料)

患者登録をしておくことで、
停電の際の復旧見通しなど、
個別に連絡してもらえます。

- 停電していること
- 人工呼吸器をつけた患者がいること
- 電力会社のお客様番号（12桁）を伝える
- 住所
- 氏名

番号：

突然の災害が起こった場合にすること

●人工呼吸器の内部バッテリーがあるうちに、外部バッテリーに接続する

●本人及び人工呼吸器の確認

- ・本人の状態は変わらないか
- ・人工呼吸器本体に損傷がなく、作動しているか
- ・異常な音、臭いは出ていないか
- ・回路の接続部分に緩みはないか
- ・回路は破損していないか
- ・設定値は変わらないか

正常に作動していない場合は、
すぐにアンビューバックによる呼吸を開始し、呼吸器業者に連絡する！

災害時避難のためのフローチャート

災害発生

① 本人の全身状態を確認 ⇒ 全身状態の悪化があれば医療機関を受診する
医療機関電話番号 -

② 医療機器(人工呼吸器・吸引器・在宅酸素療法機器など)に異常はあるか？

はい

いいえ

③ 家族の変化、家屋やライフラインに被害があるか？

はい

いいえ

④ 電源が確保できますか？復旧の目途はたっているか？

いいえ

はい

酸素ポンベの切り替え
内部バッテリーの切り替え

必要に応じて

バックバルブマスクへの
切り替え

警戒レベル (洪水・土砂災害)	住民がとるべき行動
警戒レベル5	命を守る最善の行動
警戒レベル4	避難
警戒レベル3	高齢者等は避難 他の住民は準備
警戒レベル2	避難行動の確認

※電動マットやエアベッドは停電で
作動しなくなるため要注意が必要です！

へ避難

自宅避難(2階)

福祉避難所

災害時の連絡

●災害用伝言ダイヤル

※自分が被災地の場合は、自分の電話番号を入力



伝言録音●

171

1

自宅の電話番号

メッセージを残す

※30 秒以内

伝言再生▶

171

2

自宅の電話番号

メッセージを聞く

●災害用 Web 伝言板

インターネットを利用して
被災地の方の安否確認を行う
伝言板です▶



WEB171



連絡先と内容

memo

最終チェックシート



情報

- 市町の防災情報メールの配信登録
- ハザードマップの確認
- 避難場所・避難ルート・避難方法の記入
- 緊急時の連絡先の記入



準備

- 家屋の安全点検と対策（固定）



電源

- バッテリーの確認
- 電源を確保



物品

- 医療的ケア用品
- 一般の必需品
- 荷物のパッキング